



ノアの爽風



～目次～

- 病院短信『母の日』
- 介護だより
- 作業療法室だより
- 日常の一コマ

6月の予定

◆誕生日会

1病棟: 12日(金) 14:00～
 2病棟: 11日(木) 14:00～
 3病棟: 10日(水) 14:00～

各病棟にて

◆流しソーメン

6/24(水)・6/25(木)・6/26(金) 15:00～16:00



院庭ハイク



新緑の中、太陽の光を浴びてボール送りやシャボン玉を楽しみました(๑)!

皆さんいい笑顔ですね!

病院短信

1病棟 看護師長

『母の日』

5月は新緑が美しく爽やかな初夏の季節でゴールデンウィークや子供の日、母の日などイベントが多い時期でした。先日、複数人の患者さんとの会話の中で、「もう桜も終わって5月になる。5月と言えば何か？」という話題になりました。一番最初に出てきたのは、女性が多いのもあり「母の日」でした。そして、プレゼントの中で一番多かったのはやはりカーネーション。他には服やスイーツ、お酒という方もいました。母の日の贈り物として多くの方がまず思い浮かべるのはカーネーションです。「花は枯れるけど、普段もらわないからたまにもらうと嬉しい。気持ちが大切よね」と話されています。た。「子供が小さい時は河川敷に咲いていた花をくれた。」「買った花ではないけれど、小さい子供ながらに何か上げたかったのね。それでもとても嬉しかった。」と話してくれた方もいました。

母の日は大切なお母さんへ日頃の感謝を伝える意味もありますが、日本では母の日と言えばカーネーションを贈る習慣が知られています。母の日に贈るカーネーションには、「母への愛」「純粋な愛」「真実の愛」という花言葉があるそうです。近年では品種改良が進んだこともあり、ピンク・オレンジ・紫などお母さんのイメージや好きな色に合わせて選ぶ方が多くな



ってきています。ですが、やはり一番は赤いカーネーションよねと言う患者さんが多かったです。

赤いカーネーションには「母の愛」「純粋な愛」

ピンクのカーネーションには「感謝」「温かい心」

オレンジのカーネーションには「あなたを愛しています」

紫のカーネーションには「誇り」「気品」とそれぞれ色によって花言葉があり、ポジティブなものばかりです。

母の日は普段なかなか伝えられない感謝の気持ちを改めて表現する貴重な日です。母の日の思い出を思い出しながら、笑顔で話してくれた患者さんとの時間は、いつまでも覚えていて母の顔だなと、私もとても心地よい時間でした。



日常の一幕



今月は1病棟の代作さん（81歳）です。代作さんは埼玉県出身で5人兄弟の3番目として生まれました。中学校卒業後はサラリーマンとして働いていました。23歳の時にお見合い結婚され、2人のお子さんに恵まれました。とにかく手先が器用で、自宅の縁側や子供部屋・納屋を自作したり、水道や電気関係の配線や修理も自分でやっていたとのこと。また、自宅の敷地で家庭菜園を作り野菜の自作もしていました。休日はお子さんたちとキャッチボールや河川敷で段ボールのソリで遊んでくれたと長男さんと長女さんから伺いました。奥様がお病気で介護が必要となり、定年前に退職され奥様の介護をなさっていました。

71歳頃から物忘れ等の認知症の症状が出始め、74歳の時に運転が難しくなり、免許を返納されました。75歳の時に耳の治療で入院した際に、自分の病室やトイレの場所が分からない・他の病室に入ってしまう等あり、認知症の診断を受けました。その後、デイサービスやショートステイを利用しながら在宅で生活していましたが、78歳の時に心不全で救急搬送され治療を受けた後、いくつかの病院や施設を経て、当院に入院されました。



入院当初は時々不眠となり大声が出る時もありましたが、声掛けやお茶を飲んでいただくことで落ち着かれました。入院に慣れた今では、声も大きく活気があり、介助時には「ありがとう、ありがとう」とお礼を言ってくれます。お食事も全量召し上がり、作業療法にも積極的に参加されています。これからも活気を保ち、穏やかな生活を送れるようにしたいと思います。

作業療法室だより

第3回目の活動紹介は、定期開催の一つ【元気の会】です！
この会は、OT室にて“少人数”
“刺激の少ない環境”“座ってできる



運動プログラム”で構成されており、場面の切り替えや注目が難しい方でも集中して取り組める内容となっています。

自己紹介や運動プログラムの中で、一人一人が主役となる場面や、チーム一丸となって取り組む場面もあり周囲を意識した行動や相手を賞賛する発言も伺えます。

終了時には背筋が伸び、「若返りました！」「元気になりました！」とコメントを下さる方もいらっしゃいます！
次回の紹介もお楽しみに！



介護だより

6月は気候の変化により、体調を崩しやすい時期です。日々の体調の小さな変化にも気付けるよう、職員一同しっかりと見守りを行っています。これからも一人ひとりに寄り添い、笑顔あふれる時間を大切にしていきたいと思っています。

